

「ゆうゆう北久里浜だより」



花菖蒲

ハナショウブは初夏、梅雨の中でも、ひときわ華やかに咲き誇ります。野生のノハナショウブをもとに、江戸時代を中心に数多くの品種が育成され、現在2000以上あるといわれています。優美な花形としっとりとした風情が魅力で、色彩の魔術師とも呼ばれるように、花色の変化に富んでいます。アヤメやカキツバタに似ていますが、花卉のつけ根が黄色で、アヤメのような網目模様はなく、葉幅は狭く、葉脈がはっきりと隆起している点でカキツバタと区別できます。花形は、三英咲き（さんえいざき）と呼ばれる3枚の弁が大きく目立つものと、6枚の弁が広がる六英咲き（ろくえいざき）、そして八重咲きなどがあります。品種の育成地によって、江戸系、伊勢系、肥後系の3タイプに大別されますが、これらの交配種もあり、さらに、種間交配によって育成された黄花品種や、アメリカなど海外で育成された品種もあります。

なお、端午の節句のショウブ湯に利用されるのは、サトイモ科のショウブ（*Acorus*属）で、ハナショウブとは別の植物です。

散歩 & ランチツアー

10日



16日



25日



数多くの種類の薔薇が咲き誇るヴェルニー公園にでかけてきました。隣接するショッパーズプラザの和食レストランで昼食を頂きながらゆっくり港の景色とともに楽しんで頂きました。

ゆうゆう喫茶



6日には4階のラウンジで花壇の花を鑑賞しながらの喫茶を楽しんでいただきました。

抹茶カフェ



1日には季節先取りのシャーベット、23日に抹茶の大福を召し上がりながら喫茶を楽しんで頂きました。

室内レクリエーション



22日には風船バレー、風船渡しで身体と頭の運動をして頂きました。



名所紹介

荒井浜 新井城址公園

毎年5月の最終日曜日に荒井浜で開催される道寸祭りでは、三浦一族を偲ぶ供養祭とともに、三浦一族のお家芸として永く伝えられてきた「笠懸(かさがけ)」が披露されます。1979年(昭和54年)に笠懸としては日本で初めて恒例行事として復活して、今に続く行事です。地域の方も衣装を着て参加しています。

流鏝馬(やぶさめ)、犬追物(いぬおいもの)とともに三大古弓馬術と言われる笠懸。平安末期から鎌倉、室町時代にかけて流行した流鏝馬(やぶさめ)、犬追物(いぬおいもの)と並ぶ我が国三大古弓馬術の一つ。源頼朝が三浦三崎遊覧の際、笠懸が催され、三浦義澄、和田義盛等、三浦一族は弓上手として知られていました。以来、笠懸は三浦一族のお家芸として長く伝えられてきており、昭和54年(第1回)に我が国初めての恒例行事として復活し、本年に至っています。

お知らせ

◆ 6月アクティビティ予定

- ・ランチツアー
- ・車椅子ダンス
- ・書道教室
- ・お茶会
- ・ゆうゆう喫茶
- ・詩吟の会
- ・メガネリフレッシュ
- ・カラオケの会
- ・日本の歌を唄う会

母の日

5月14日の母の日にピンクのカーネーションを贈りました。花言葉は、「感謝」や「気品」、「温かい心」、「美しい仕草」です。赤いカーネーション同様、こちらも母の日に伝えたい思いが込められています。



ナーシングホーム 北久里浜

〒239-0807

横須賀市根岸町3-2-14

電話 046-838-5778